

## 論述ブースト No.7

AIと医療を論じる ― 技術・倫理・社会の3軸で答案を組み立てる

## 導入文

「AIは医療をどう変えるか」という問いは医学部入試の小論文・面接で急増しているテーマだ。しかし「便利になる」「個人情報心配」という表面的な答えに終わる生徒が多い。技術・倫理・社会の3軸を持つことで、深みのある論証が書けるようになる。

## 講義概要

AI医療を「技術の可能性」「倫理的課題」「社会制度・格差」の3軸で論じる枠組みを構築する。画像診断・創薬・電子カルテ・診断補助などの具体例を各軸で整理し、「AIが医師に取って代わるか」「誰が責任を持つか」「アクセス格差」などの典型問いに論証で答えられるようにする。

**授業目標：**AI医療論述を表面的な感想から、技術・倫理・社会の3軸による論証へ変える。

**対象者：**高2～高3・浪人生。医学部・医療系の総合型選抜・推薦入試で、AI医療テーマの小論文・面接に備えたい生徒。

**授業時間：**授業90分+演習・質疑応答30分

**到達目標：**3軸でAI医療を論点整理できる／典型問い（責任・格差・代替）に論証で答えられる／賛否だけでなく条件付きで論じられる

## 授業構成（90分）+演習・質疑応答（30分）

**授業90分：**1 導入：表面的な答えと論証のある答えを比較 2 技術軸：AI医療の現状と可能性を具体例で整理 3 倫理軸：責任の所在・プライバシー・アルゴリズムの偏り 4 社会軸：アクセス格差・医師不足地域・制度的課題 5 典型問い：「AIは医師を代替するか」を3軸で論じる 6 演習：小論文骨子を3軸で作成 7 まとめ：「3軸を先に整理してから書く」習慣を固定

**追加30分：**「AI診断で誤診が起きた場合の責任は誰にあるか」を3軸で300字論述する演習と質疑応答を行う。

**板書・スライド骨子：**AI医療の現状整理／技術・倫理・社会の3軸の定義／典型問いへの適用／論証骨子テンプレート

**課題：**「医療へのAI導入をどこまで進めるべきか」を技術・倫理・社会の3軸を使って300字で論じる。

**備考：**高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。